

平成29年度 横浜南養護学校 不祥事ゼロプログラム実施状況

○ 項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
①法令遵守意識の向上	法令の遵守及びモラルの向上	「服務等に関するハンドブック」を作成・配付し、教職員の適正な服務に関する研修を行った。教育公務員としての服務に関するモラルと法令遵守の意識が向上した。
②わいせつ・セクハラ行為の防止	わいせつ行為・セクハラ的関わりの未然防止	不祥事防止啓発資料を活用し、セクハラとは何か、相手にど受け止められるか、などについて研修した。未然抑止のためにわいせつ行為に関する懲戒処分の指針改定を確認した。
③体罰、不適切な指導の防止	体罰、不適切指導の未然防止	不祥事防止啓発資料を活用し、処分事例をあげながら、不適切な指導とはどういうものかについて研修し、体罰、不適切指導は絶対にあってはならないことを確認しあった。
④成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	マニュアル整備 チェック体制の再確認	成績処理にあたっては、チェック体制を機能させ、誤った記載を未然に防止することができた。また進路関係書類作成および事務手続きについても、関係者のダブルチェックを丁寧に行い、円滑で適正な業務を遂行できた。
⑤個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）	個人情報の取り扱いに関するルールの遵守 記録媒体の適正利用の徹底	個人情報の扱いに関する研修を行い、特に、パソコンデータファイルの扱いについて、県のガイドラインに則った整理改善を行った。書類に関しても、何が個人情報に該当するののかという事例を具体的に考えながら、適切な管理・保管、処理・廃棄に当たっての注意事項を共有化することができた。
⑥業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	確認協力体制の見直し ダブルチェック、トリプルチェックの徹底	教務事務における事故防止の取組として、転出入手続き、指導要録、指導計画、出席簿の扱いについて、また教科用図書業務について、手続きの理解と留意事項を共有化した。教職員全員が関わる業務として再認識し、業務執行における事故防止に資する研修を重ねた。
⑦会計事務等の適正執行	私費会計に係る事務処理の適正執行と私費会計マニュアル整備	学校が受ける監査について共通理解を深めるとともに、本校における私費会計の特殊性を考慮しつつ、県の会計基準に則った整理改善に着手した。年度内の私費会計マニュアルの整備完成は未達成であった。
⑧保健・安全対策および学校防災・安全対策	安全・安心な学校環境の整備 事故防止のための適切な対策	学校の危機管理に係る伝達講習を行い、リスクマネジメント力を向上させるとともに、学校における事故の具体例から事故防止のポイントや、適切な事後対応について研修を行った。

○ 平成29年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び平成30年度に取り組むべき課題

平成29年度において定例の事故防止会議を11回、臨時職員会議を2回、また朝の職員打合せでの注意喚起、周知徹底を16回実施し、不祥事ゼロ・事故防止の取組を重ねてきた結果、本校として不祥事・事故ゼロを達成することができた。次年度については継続事項である私費会計マニュアルを完備し、引き続き重点取組項目についての効果的な研修のあり方の改善を図っていきたい。